

図書室だより



開成町図書室 ▶ ☎20-4742
 開室時間 ▶ 火～金曜日：10時～20時30分 / 土・日・祝日：10時～17時
 休室日 ▶ 毎週月曜日
 ※新型コロナウイルス感染症の状況により、開室時間を変更することがあります。
 ※貸出冊数は一人4冊までです。貸出期限は2週間です。

親子で楽しむ

おすすめ絵本

町では、読書を通して家族のコミュニケーションを深めるため、毎月1日を「ファミリー読書デー」としています。図書室で借りられる、親子で楽しめる本を紹介します。



はたらきもののじよせつしゃけいていー
 作・絵：バージニア・リー・パートン
 訳：石井 桃子 福音館書店

けいていーは、除雪機をつけた赤いトラクターです。大雪が積もり、けいていーの出番となりました。町中を回り、困った人を助けて大活躍！けいていーが進んでいく様子や雪の町の地図が一緒に描かれていて、じっくり楽しめます。

冬が楽しくなる絵本！

寒くて家の中にこもりがちになる冬、ゆっくり絵本を読んで過ごしませんか？
 冬の楽しさがいっぱい詰まっている絵本を紹介します。
 ほっこり温かい気持ちにもなれますよ。



NEW 新着本

新しく購入した図書の一部を紹介します。図書室にない本は、リクエストできます。お気軽にご相談ください。

一般書		黒川 博行
		梶 よう子
		羽田 圭介

児童書		草野 たき
		廣嶋 玲子
		ジル・パークレム

子育てナビ

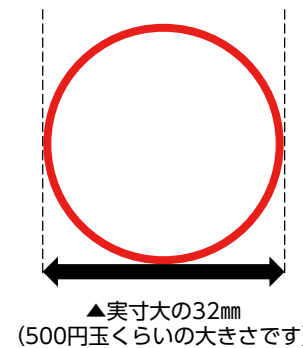
不慮の事故を防ぎましょう！

子育て健康課 ☎84-0327

子どもの死亡原因(不慮の事故の順位)

年齢	順位
0歳	4位
1～4歳	2位
5～9歳	1位

出典：平成30年度性・年齢別に見た死因順位(厚生労働省)



不慮の事故は、死亡原因の上位を占めます。厚生労働省の「平成30年度性年齢別に見た死因順位」(左表)を見ると、「不慮の事故」は、子どもの中でも上位を占めており、日本では、子どもが亡くなる原因の4分の1にまで達すると言われています。

また、年齢が上がると順位も上がっていることがわかります。

乳児期の子どもは、興味あるものをつかむと、なんでも口に入れます。そのため、特に乳児期の子どもの不慮の事故の内容では、誤飲が多くなっています。乳児期の口の大きさは、左図の赤丸の大きさのものが口に入ってしまう可能性があります。意外と大きいもので入ってしまうので、気を付けましょう。

事故を防ぐための環境づくりに努めましょう。子どもから少し目を離したうちに、ヒヤッとしたことがありますか？でも、活発な子どもをずっと見ていることは中々できないですよね。事故に繋がらないように日頃から家庭内の環境づくりをしましょう。子どもの目の高さでチェックし、危ないものや汚れたものは、手の届かないところに移動しましょう。

母子健康手帳はお子さんの記録を残すだけでなく、いざという時に役立つ情報がたくさん載っていますよ！

子育て健康課保健師 茂川 安美



緊急時の対応を確認！
 事故は、気を付けていても起きてしまいます。その際に大事なものは、適切な対応をすることです。母子健康手帳の後半のページに、事故が起きた際の対応や心肺蘇生等について記載されています。事故が起きたときに落ち着いて確認することは難しいので、事前に確認しておき、すぐに開けるよう、ふせん等で分かるようにしておきましょう。



朝食レシピコンテスト

入賞作品全8品を連載で紹介しています。
 子育て健康課 ☎84-0327

☆やみつき☆ねばサクッホットサンド

材料(4人分)

食パン(8枚切り)	8枚	ピザ用チーズ	40g
納豆(たれ、からしも含む)	2パック	青のり	大2
カット野菜(千切りキャベツ)	80g	ごま油	大2
		粉末だしの素(加塩)	小2
		マヨネーズ	小2

- 食パン以外を全て混ぜる。
- ホットサンドメーカーを温めておく。
- ホットサンドメーカーの上に食パンを1枚置き、混ぜておいた具材 1/4 を乗せ、食パンでふたをし、ホットサンドを作る。
- 両面をこんがり焼く。

優秀賞

大好きな納豆を食べやすくするため、ホットサンドで焼きました。

矢野 百々花さん

元気だより



▲各学年代表によるアンケート結果の発表 ▲首のストレッチ紹介

文命中学校 ☎83-1386

2年ぶりの学校保健委員会
 文命中学校養護教諭 佐々木 玲菜

昨年度はコロナ禍の影響で中止となった学校保健委員会を、今年度は学校内関係者で開催することができました。テーマは「コロナ禍の現代、何にストレスを感じている？」「ストレスと上手に付き合う方法」とし、活動しました。全校生徒に実施したストレスアンケートを、保健委員14名が考察・発表し、ストレッチ運動等を織り交ぜながら、ストレス対処法を紹介しました。後半は、スクールカウンセラーの講話を聞き、生徒は「対処法の種類、ストレスは程よくあったほうが自分の成長につながることを知り勉強になった」という感想を持っていました。

今回学んだストレス対処法や知識を、保健委員の生徒から、周りの友だち・家族などに発信してくれることを期待しています！

「元気だより」では、町の子どもの様子を学校・保育園等の現場からお届けします。